The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	大阪大学文書館設置準備室だより 第6号
Author(s)	
Citation	大阪大学文書館設置準備室だより. 2010, 6
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/3486
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

ISSN 1882-3963

大阪大学
文書館設置準備室だより

第6号

2010.3.31

目次

旧制高校の終焉 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
「学習院アーカイブズ」の試み
桑尾光太郎・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
韓国国家記録院・ソウル大学校図書館
訪問記　澤井　実・・・・・・・・・・・・・4
大学史の編さんと文書館
阿部武司・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
受贈刊行物・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
業務日誌（抄）・・・・・・・・・・・・・・・・・・14
文書館設置準備室からのお願い・・・15
大阪大学文書館（仮称）の設置構想
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16
大阪大学文書館設置準備室員名簿・16

旧制高校の終焉

大阪大学の前身には、大阪高等学校（大高）と浪速高等学校（浪高）という二つの旧制高校があります。大高は1921（大正10）年に設置された官立高校、浪高は1926年に設置された大阪府立高校です。

戦後の学制改革により、大高と浪高は1949（昭和24）年に新制大阪大学に包括・併合され、1950年に廃校となりました。今年は旧制高校が終焉して、60年目の節目に当たります。

大高と浪高は、大阪大学一般教養部の母体となりました。その教育は、現在の全学共通教育に受け継がれています。豊中キャンパスは浪高の敷地を拡大したものです。

写真は、豊中キャンパス内に設置されている大高「青春像」（左）と「旧制浪速高等学校創立五拾周年記念園」石碑。ともに同窓会によって建立されました。　（菅　真城）

「学習院アーカイブズ」の試み

学習院アーカイブズ準備室　桑尾光太郎

学校法人学習院は、幼稚園、初等科、中等科、高等科、女子中・高等科、大学、女子大学といった学校を経営し、全校の本年度在籍学生生徒は13,504名・専任教職員は780名である。学習院はもちろん私立学校であり、規模や組織、歩んできた歴史も大阪大学と大きく異なる。とはいえ大阪大学文書館設置準備室と当準備室は、アーカイブズとしての稼働開始を予定する時期が重なり、取り組んでいる業務や問題点においても共通点が多い。菅真城氏と筆者とは互いに大学史編纂に携わっていた頃から旧知の間柄で、昨年も筆者が阪大を訪問した後、菅氏が学習院に来校された。そこで菅氏から機会をいただき、学習院の現状を報告する次第である。

学習院の淵源は幕末の京都に設置された公家の学問所にあり、1877(明治10)年、あらためて東京に開業して以来130余年の歴史を持つ。近代の学習院は華族の教育を目的としてきたが、第二次世界大戦敗戦直後の存続の危機を乗り越え、1947（昭和22）年から私立学校として再出発するという、特異な歩みを経てきた。その歩みを示す資料を保管する場所として、総務課院史資料室がおかれている。同室は1970年代から80年代にかけて『学習院百年史』の編纂が行われた際、その過程で収集された資料を保管する係として設置された。1990年代には『学習院大学五十年史』編纂事業によって、主に戦後期や新制大学期の資料が追加された。院史資料室には明治期以来の官立時代の公文書をはじめ、戦後の事務文書・乃木希典関係資料・写真・卒業生や旧教職員から寄贈された資料など約1万点が収められている。この院史資料室を発展的に改組し、学内の各部署が作成・保管してきた事務文書等を受け入れる役割を加えて、学習院アーカイブズを形成していく予定である。

学習院大学には2008年から大学院人文科学研究科アーカイブズ学専攻が開設され、2010年3月に第1回の博士前期課程修了者を出した。2004年に発足した日本アーカイブズ学会も、学習院大学を拠点として諸活動を行っている。しかしながら学習院そのもののアーカイブズ整備は、私学の中でも立ち後れている感が否めない。資料閲覧の申し込みや学習院の歴史に関する問い合わせが多いにもかかわらず、院史資料室の体制はきわめて貧弱である。学習院関係資料は目白キャンパス内の大学図書館や大学史料館、さらに戸山や四谷の各キャンパスに所蔵されているが、アクセスへの便宜もさほど図られてこなかった。そうした資料を学校の経営戦略としていかに利用するかについては、消極的な姿勢が続いていたのである。

こうした状況を打開すべく、2008年から学習院アーカイブズ設置を目標とする事業計画が立案され、2009年4月、院史資料室に併設する形で学習院アーカイブズ準備室が設置された。その目的は、学校のあゆみを示す関係史料を収集・保管するとともに、学内で作成・保存される事務文書の選別・廃棄を含めた管理を系統的に行い、教育研究・事務・広報などの活動に資することにある。準備段階を経たのち、学習院アーカイブズの設立は2011年を予定している。目下準備室では、学内各部署が所蔵する文書資料の概要についての調査と、すでに収集されている院史資料室内の資料を整理し公開利用にむけて体制を整備することが、主たる業務となっている。

学習院では、幾度かの年史編纂等を契機に学校関係の事務文書（国立大学での法人文書）が院史資料室に移され、大学設置時の認可申請書をはじめ、教務・施設・例規・式事などさまざまな文書が保存されてきた。現在施行されている「学習院文書取扱規程」には、文書の保存や移管について院史資料室に

関する規定は記されていない。現実には「もう使わないけど大切そうだから取っておいてよ」といった感覚で、各部署からの移管や相談が続いてきた。前述したように院史資料室の活動実態が充実していたとは言い難いが、部分的ではあれアーカイブズとしての役割は果たしてきたといえる。他方で大阪大学では、これまで非現用文書や歴史的資料が集積された部署がなく、文書館設置準備室の活動によってアーカイブズを最初から立ち上げなくてはならないように見受けられる。これまで菅氏は「年史編纂からアーカイブズへ」という考え方を否定しようとした主張を述べられ、筆者の著作も批判の対象とされてきた。その背景には、もともと歴史的資料が集積されていて、それを核にアーカイブズの体制を形成していこうとする筆者の職場と、大阪大学文書館設置準備室との条件の違いがあると感じている。

とはいえ、大阪大学と学習院に共通する最も根本的な課題は、「学内のどこに何があるか」を把握することである。情報公開法の施行によって各国立大学では、公開の対象となる現用期間の文書を対象に法人文書ファイル管理簿が作成された。これは保存期限切れの文書を選別の上、保存すべきものを受け入れるというアーカイブズの機能を作っていくうえでの前提作業となる。しかし多くの国立大学では法人文書ファイル管理簿作成の時点ですでに保存期限が切れて非現用となっていた文書のリスト化は行われなかったという。膨大な非現用文書も含めすべての文書をリスト化した例が京都大学で、その作業を基礎に本格的な大学アーカイブズとして京都大学大学文書館が発足したといっても過言ではない。学習院のような私立学校において事務文書は情報公開の対象でなく、これから施行される公文書管理法の影響も当面なさそうに思われる。所蔵文書のリストはほとんどの部署で作成されておらず、文書取扱規程は存在するものの規定通りに保存年限が定められて移管や廃棄が行われるケースも少ない。

いずれにせよアーカイブズの仕組みを作るには、「どこに何があるか」の把握＝各部署毎の所蔵文書リストの作成が求められる。と記すのは簡単だが、実際にリストを作成するには馬鹿にできない時間と手間がかかる。また実際に倉庫内の文書ファイルと相対すると、果たしてこの文書が何年保存が適切かを判断することは難しい。では誰がそのリスト作りを行うかについては、阪大も学習院もアーカイブズ設置準備に関わるスタッフしかおらず、しかもわずかな人手しか用意されていないのが現実である。アーカイブズへと至る文書管理の流れは、制度や規定が出来たからといって一朝一夕に成立するものではなく、できることから少しずつ実績を重ねていくしかないであろう。

アーカイブズの設置過程における「どこに何があるか」の明確化は、事務の効率化・収蔵スペースの有効活用につながるほか、何よりも学内の各部署間、あるいは教員と職員間の連携・情報交換を円滑にするのではないか。このことについては、資料の所在確認や各部署を回ってみて一定の手応えを感じている。学習院のキャンパスがそれほど大きくなく、あらゆる部署を気軽に訪ねることができる強みかもしれない。ともあれ筆者が重視しているのは学内および学校間における情報の共有化と交流であり、学習院という組織にとってアーカイブズとは、社会的責任や建学の精神の継承・情報公開への対応云々より以前に、あると便利だから設けるのである。ささやかな試みではあるが大学アーカイブズとしてのひとつのモデルとなれるよう、大阪大学とも情報交換を重ねながら事業を進めていきたい。

学習院アーカイブズ準備室所蔵文書

韓国国家記録院・ソウル大学校図書館訪問記

大阪大学大学院経済学研究科教授　澤井　実

2009年8月31日に韓国国家記録院、9月2日にソウル大学校図書館、同奎章閣を訪問する機会を得た。3機関の来歴・現況、訪問の際に受けた印象などを記してみたい。

韓国国家記録院（National Archives of Korea）は1969年に設立され、現在は大田広域市に所在する。2009年8月現在の正規職員346名、非正規職員300名と聞いて驚く。一方、わが国の国立公文書館の職員数は40数名である。国家記録の保存期間は1年、3年、5年、10年、30年、準永久、永久の7段階に区分される。10年以下の記録については、期限満了後、破棄もしくは保存期間の延長を行うことになるが、後者の場合、記録は自動的に国家記録院に移管される。なお保存期間延長の判断は、各部（省庁）が設ける記録破棄審議委員会（各部記録官、学識経験者、および民間の外部委員で構成）が行い、ここに国家記録院が関わることはない。国家記録院職員は歴史系（学芸）、記録系（文書保存）、図書館系（司書）、工学系（技術）などの大学卒業者である。

朝鮮総督府文書が終戦後大量に焼却処分されたことは有名な事実であるが、残された文書はアメリカ軍に接収され、後に大韓民国政府に引き渡された。その後の朝鮮戦争をへて政府所蔵の旧総督府文書が国家記録院に保管されている訳である。こうした経緯のため、現存資料は数量的には限定されているが、現在はそのほとんどがweb上で公開されている。なお韓国では国家記録院を含めてさまざまな機関（国史編纂委員会など）が植民地期の資料収集を国内外で精力的に行っている。

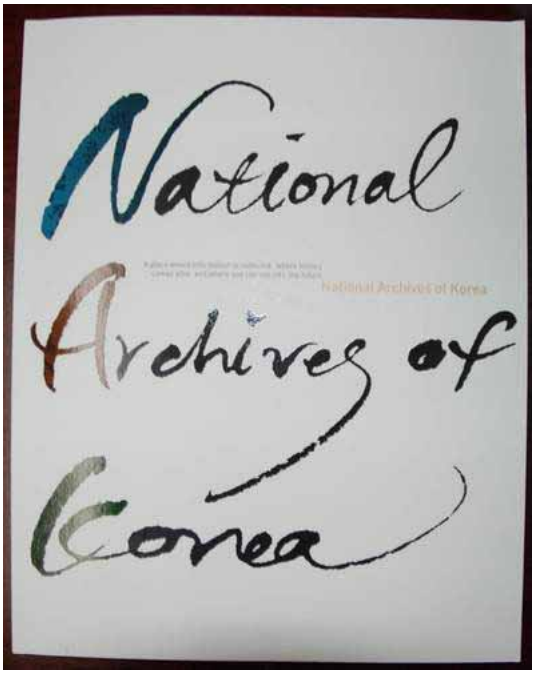
ソウル大学校図書館の前身は京城帝国大学附属図書館（1927年設立）である。同図書館には京城帝国大学附属図書館所蔵の図書・定期刊行物など約31万点が所蔵されている。こうした図書資料が日本人研究者に正式に公開されたのは1990年代に入ってからのことであり、98年には九州大学古典籍調査団が江戸時代の和本約3万冊の所蔵を確認している。今回の訪問でも、京城帝大・法文学部朝鮮経済研究所関係資料、経済関係定期刊行物など貴重なものが多いとの印象を受けた。こうした貴重な経済資料を活用しながら、日韓でどのような共同研究が可能だろうかと自問しながら、書架の間を動き回っていた。京城帝国大学附属図書館からの引き継ぎ図書資料には、朝鮮戦争時、釜山まで移され、戦後にまたソウルにもどるという歴史がある。また京城帝大時代の卒業論文も保存され、学籍簿は大学本部で保管されているとのことであった。

ソウル大学校には著名な奎章閣がある。奎章閣の設置は1694年であり、1781年には江華島に外奎章閣が設置され、江華島を占領したフランス軍が外奎章閣を破壊し（1866年）、その資料は現在パリ国立図書館で保管されているが、韓国政府とフランス政府の間で返還交渉が進んでいるとのことである。朝鮮王朝時代の各文書館、地方の各史庫に所蔵されていた典籍10万余冊が奎章閣の図書と統合され、「帝室図書」と命名され、この時に有名な『朝鮮王朝実録』、『承政院日記』等も奎章閣に移管された（1907年）。帝室図書は李王職で管理されたが、1911年に朝鮮総督府に移管され、12年に帝室図書は「奎章閣図書」とされる。1923年に京城帝国大学が設立され、朝鮮総督府は28～30年に奎章閣図書を同大学に移管した。これが現在のソウル大学校奎章閣のはじまりである。奎章閣図書もやはり朝鮮戦争時には釜山に緊急輸送された。1992年に中央図書館から独立してソウル大学校奎章閣となり、2004年に新館が増築されている。

『朝鮮王朝実録』は5セット作成され、各地の史庫に保管された。そのうちの五台山本『実録』は1913年に朝鮮総督府から東京帝国大学に移管される。ところが関東大震災で大部分が焼失し、焼け残った74冊のうち27冊が32年に京城帝大に移管され、東京帝大に残された47冊は2005年に東京大学からソウル大学校に引き渡された。

ソウル大学校奎章閣では韓国国宝であり、UNESCO世界記録遺産に登録されている『朝鮮王朝実録』、『承政院日記』等だけでなく、「軌儀」（朝鮮時代の王室や国家に大きな行事があった際、後世の参考となるような行事の顛末、所要経費、行事の次第、行事後の褒賞等を記録したもの）のような素晴らしい記録資料も閲覧することができる。

駆け足で3機関の状況を紹介してきたが、韓国において歴史史資料がいかに大切に保管・公開され、現在も精力的な収集作業が続けられているかを知り、深い感銘を受けた。同時にそうした史資料の賦存状況に日本が深く関わり、その苦難の経験が隣国が歴史史資料の重要性を認識する際の原点の一つになっていることを痛感させられた次第である。



National Archives of Korea のパンフレット

大学史の編さんと文書館

大阪大学文書館設置準備室長　阿部　武司

大阪大学（以下、阪大と略す）の起源を懐徳堂（享保9〔1742〕年設置）や適塾（天保9〔1838〕年設置）に求める考え方もあるかもしれないが、通常は1931（昭和6）年5月が大阪帝国大学の開学とされている。この考え方に沿って1956年に『大阪大学二十五年誌』が、1980年代中葉には『大阪大学五十年史』（通史および部局史）が出版され、100周年記念にあたる2031（平成43）年ごろにも『大阪大学100年史』（以下、100年史と略す）の刊行が期待される。大学や企業が自らの歩みを記した大部な書物は、通読されることはほとんどなく、極端な場合には置物扱いされるにすぎないが、学識を持った人材が相当の時間を投じて真剣に執筆・編集した作品ならば、評価能力のある読者にとっては先達の知恵の宝庫となる。大学史などの研究者はもちろんのこと、阪大に関心を持つ教職員・学

生・卒業生などの役に立つ立派な100年史の出版が今から待ち望まれる。以下では大阪大学文書館設置準備室（以下、準備室と略す）がそれといかに関わるのが適切であるのかを考えてみよう。

阪大が法人化される直前の2006年春に筆者は、学内有志のご依頼を受けて当時の宮原総長をはじめとする阪大当局に文書館の設置をお願いすることになったが、私に依頼をされた方々のうち何名かが、阪大50年史の編さんにかかわっておられた頃、阪大の歴史に関する資料を収集・整理・公開するための大学史資料室を、編さん事業が終了したのちにも残してほしい旨を阪大当局に懇願したところ、理解を得られず却下されたというご説明があった。その後の準備室の調査によれば、50年史編さん資料は総合図書館の一隅に保存されてはいるものの、顧みられる機会も少なく、あるべき資料がしばしば見当たらなくなっていた。さらに問題なのは、50年史の編さんののち、約20年間、阪大の歴史に関する資料の収集が進められていなかったことである。こうした状況では、内容が充実した100年史の刊行はとても無理であり、この状況を何とか打開しなければならない、というのが上記のご依頼に接したときの私の率直な気持ちであった。阪大の歴史に関する法人文書をはじめとする資料の収集・選別・整理・保存・公開を主な任務とする阪大文書館のミッションは、大学史編さんのための資料収集に限られないことはいうまでもないが、歴史家のはしくれである私の頭には、まず100年史の編さん事業が思い浮かんだのであった。

しかしながら、文書館がそれではそうした大学史の編さんの主役になればよいのかと問われれば、否と答えるべきであろう。上記の大学史資料室あるいは大学史編さん室ならば、そうしたこともありえよう。しかし、まず大学文書館は先ほどもふれたように、大学史編さんのためにのみあるのではない。収集した資料は大学の行政の参考にされる場合も多く、また、阪大に関心を持つ人々からの様々な問い合わせへの回答にも使われる。さらに、阪大の歴史を研究する人々にとって役立つ機関でなければならないし、所蔵資料を博物館等と提携して展示することもあるだろう。次に、大学文書館には、大学史の編さんに不可欠な資料を精選し、あるいは欠落した資料を探して補完するなどして、編さん者の求めに応じた資料をすぐに閲覧できるように準備する責務があるが、その資料を具体的に活用することは、文書館とは別の人々の仕事なのである。文書館の関心は資料そのものなのであり、その活用法を提唱することはあっても、資料を使うこと自体は個々の利用者の課題である。

このようなことをあえて記すのは他大学を見ていると、文書館のメンバーが大学史編さん事業に動員され、文書館の業務を続けながらも、大部の原稿を書くのが当然のように考えられがちだからである。大学文書館にかかわる教員は、もともと教育史あるいは日本近代史を専攻していた、または現在でもそれらに従事している研究者が多い。それは、文書館が一種の近代文書を扱う以上、けっして不思議なことではない。しかしながら、そうした人々は少なくとも勤務時間中は、文書そのものを扱うarchivistなのでありhistorianではない。普通の人間は、限られた時間には多数の職種をこなせない。大学史の編さん業務を教員に依頼する責任者は、この点を十分に認識していただきたく思う。

企業や大学の年史を編さんする際には周到な準備が必要である。一説によれば10年の歩みを記述するには1年を要するというが、この説に従えば100年史の完成には10年が必要となる。そうだとすれば、阪大100年史の編纂は2020年代初頭、つまり今から10年先には始めなければならないことになる。それまでに当準備室は本格的な文書館となり、年史編さんに必要な資料を十分集めておく必要がある。そして、文書館とは独立に100年史編さん委員会が学内に設置され、それが広範な分野にわたる優秀なライターを組織し、これまた十分な時間をかけて後世に残る立派な年史を完成してくれることを心より願っている。

受贈刊行物 （2009年8月～2010年2月）

愛知大学東亜同文書院大学記念センター
公開講演会　ー海格路キャンパスは「借用」か「占拠」かー（チラシ）、愛知大学史研究　第3号

皇學館館史編纂室
皇學館大學の百二十七年、第五回学校法人皇學館館史編纂室資料展　展示目録

追手門学院大学
学校経営管理セミナー（チラシ）、OTEMON　STUDIES Vol.42、追手門経済論集　第15巻　第1号、追手門経営論集　第44巻　第1号、追手門学院大学　国際教養学部紀要　第3号

大阪国際学園
大阪国際学園創立80周年記念　DVD、大阪国際学園創立80周年記念誌

大阪市立大学大学史資料室
大阪市立大学史紀要　第2号、シンポジウム「恒藤恭と芥川龍之介ー時代と対峙した二つの知性」（チラシ）

小樽商科大学百年史編纂室
緑丘アーカイブズ　第10号

学習院大学大学院人文科学研究科
アーカイブズ学専攻事務室
学習院大学大学院アーカイブズ学専攻講演会　2010年度入試説明会（チラシ）、学習院大学大学院アーカイブズ学専攻講演会　2010年度入試説明会（ポスター）、「記録を守り記憶を伝える」アーカイブズ学専攻博士前期課程・博士後期課程学習院大学大学院人文科学研究科、記録を守り記憶を伝える（リーフレット）、アーカイブズ学／記録情報管理に関する人材募集の情報をお寄せ下さい！（チラシ）、めざせアーキビスト　来たれ目白の杜へ（チラシ）

神奈川大学資料編纂室
神奈川大学80年のあゆみ

関東学院
関東学院125年史、関東学院の源流を探る

九州大学大学文書館
九州大学大学文書館ニュース第32号、九州大学　大学史料叢書　第17輯

京都産業大学
サギタリウス　Vol.45・46

京都大学大学文書館
京大の1969年―大学文書館所蔵資料で見る―（チラシ）、京都大学大学文書館企画展「大学祭の百年ー京大11月祭の源流をたどるー」（チラシ）、京都大学大学文書館だより　第17号

慶應義塾福澤研究センター
福沢研究センター通信　第11号

神戸国際大学学術研究会
経済経営論集　第29巻　第2号、神戸国際大学紀要　第77号

神戸女学院史料室
學報　No.157

駒澤大学文化歴史博物館
駒澤大学文化歴史博物館　企画展　戦国武将の日記を読む　～「松平家忠日記」に見る信長・秀吉・家康～（ポスター）

成蹊学園史料館
成蹊学園史料館年報　2008年度

専修大学総務部大学史資料課
桑名市博物館・専修大学・一橋大学共同企画展　駒井重格の軌跡　～専修大学の創立者、一橋の名校長～（チラシ）（ポスター）、専修大学の歴史

大東文化歴史資料館
第8回企画展　「大東文化学院創設をめぐる人々（Ⅳ）～大東文化協会初代副会頭　小川平吉～」（チラシ）、大東文化歴史資料館だより　第7号

中央大学大学史編纂課
中央大学史資料集　第22集

東京大学史史料室
東京大学史史料室ニュース　第43号

同志社大学同志社社史資料センター
第36回　Neesima Room　企画展(パンフレット)(チラシ)(ポスター)

東北大学史料館
歴史の中の東北大学－大学と学生の一世紀-、歴史の中の東北大学－大学と学生の一世紀－他(チラシ)、東北大学史料館企画展「マンボウ青春記の仙台－北杜夫と東北大学医学部－」(ポスター)、東北大学史料館だより　No.11

東洋英和女学院
楓園　No.57～59、史料室だより　№73

東洋大学井上円了学術記念センター
井上円了センター年報　Vol.18

長崎大学
CHOHO　Vol.29～30

日本大学資料館設置準備室
黌誌　第5号

広島大学高等教育研究開発センター
RIHE International Seminar Report No.13

福岡大学75年史編纂室
福岡大学75年の歩み　写真・年表編

学校法人桃山学院
桃山学院創立125周年記念誌

龍谷大学図書館
龍谷大学370年の歩み

国文学研究資料館
国文研ニューズ　No.18

全国大学史資料協議会西日本部会
研究叢書第10号　戦時下・占領下・米国統治下における大学史料

全国大学史資料協議会東日本部会
大学アーカイヴス　№41

あおぞら財団
資料館だより　№28

社団法人生産技術振興協会
生産と技術　Vol.61 No.3～4・Vol.62 No.1、新春トップセミナー　直近の世界情勢(チラシ)

野間教育研究所
高等女学校の研究(上)(下)－女子教育改革史の視座から－

愛知県公文書館
愛知県公文書館だより　第14号

尼崎市立地域研究史料館
地域史研究－尼崎市立地域研究史料館紀要－第39巻　第1号

天草市立天草アーカイブズ
年報　第7号

沖縄県公文書館
海の沖縄戦展(チラシ)

神奈川県立公文書館
神奈川県立公文書館だより　第22号

京都府立総合資料館
総合資料館だより　№161・162、総合資料館　収蔵品展(チラシ)、総合資料館　収蔵品展関連行事寺子屋講座(チラシ)

札幌市総務局行政部総務課
文化資料室ニュース　第9号、札幌市公文書館基本構想

寒川文書館
寒川文書館だより　Vol.6、寒川文書館年報　平成20年度

東京都公文書館
東京都公文書館だより　第15号

独立行政法人国立公文書館
国立公文書館年報　第38号　平成20年度、国立公文書館報　紀要「北の丸」第42号、アーカイブズ　第37・38号

栃木県立文書館
文書館だより　第46号

長野県立歴史館
長野県立歴史館たより　2009年　冬号　vol.61　、開館15周年冬季展　新修の歴史遺産Ⅲ(チラシ)(ポスター)、長野県立歴史館講座のご案内　やさしい信濃の歴史講座

福井県文書館
福井県文書館年報　第6号　平成20年度、文書館だより第14号

福島県歴史資料館
福島県史料情報　第25号

北海道立文書館
館報「赤レンガ」　第45号

山口県文書館
山口県文書館研究紀要　第36号、行政文書件名目録2　山口県布達達書Ⅱ―明治11～14年―、山口県文書館諸家文書目録　9　平生町佐合島　佐川家文書　第二分冊、年報　平成20年度、文書館ニュース　No.43

和歌山県立文書館
和歌山県立文書館だより　第26号

大阪大学企画部企画推進課
大阪大学プロフィール　2009、大阪大学職員録　平成21年、阪大NOW　№112～115、第50回まちかね祭(パンフレット)、阪大ニューズレター　No.46

大阪大学企画部広報・社学連携事務室
Nakanoshima MAP　大阪大学発祥の地(パンフレット)、大阪大学中之島センター　ご利用案内(リーフレット)、大阪大学中之島センター　ご利用案内(リーフレット)詳細内容、Ground　Plan　Osaka University(冊子)、Ground　Plan　Osaka University(英文冊子)、第41回大阪大学中之島講座　秋季講座(ポスター)(パンフレット)、中国黄土高原　紅棗がみのる村から　写真展(チラシ)、夏まつり(ポスター)、第41回大阪大学中之島講座＜夏季講座スペシャル＞(チラシ兼申し込み書)、第41回大阪大学中之島講座＜夏季講座スペシャル＞(ポスター)、日食を見よう！　日食観測会in大阪大学(チラシ)、過去からきた未来の音　テルミン・レクチャーコンサート(チラシ)、Bon　vivant! 女性のためのキャリアデザインフォーラム(チラシ)、イクリプスマスタークラス「弦と絃」(チラシ)、イクリプスマスタークラス「弦と絃」(ポスター)、ロボット演劇プロジェクト「働く私」(チラシ)、第1回大阪大学21世紀懐徳堂シンポジウム　地域と大学が一緒に考える“まち育て”(プログラム)(チラシ)、第40回大阪大学中之島講座(パンフレット)(テキスト)、大阪大学21世紀懐徳堂(パンフレット)、大阪大学21世紀懐徳堂オープニングセレモニー(プログラム)、阪大ニューズレター　№45、和歌山大学五十年史、学習院大学五十年史　上巻下巻、学習院大学の50年　写真と図録、滋賀大学史－五十周年を迎えて－、神戸商船大学七十五周年記念誌、山口大学50周年記念誌＜通史＞＜写真集・対談＞、鹿児島大学五十年史、千葉大学五十年史、東北大学百年史　八　資料一、早稲田大学百年史第三巻、早稲田大学史記要　第三十一巻、駒澤大学百二十年史、京都教育大学百二十年史、法政大学と戦後五十年、法政大学と戦後五十年　資料篇四－法政大学史資料集　第二十四集－、法政大学と戦後五十年　別冊(年表・資料・体育会活動略史・索引)、鳥取大学五十年史、徳島大学五十年史、名古屋大学史紀要　第8号、岡山大学史　平成元年～平成十一年、放送大学二十年史、京大史記、愛媛大学五十年史、奈良教育大学大学院20年史、金沢大学50年史　部局編、東京大学創立120周年記念東京大学展－学問の過去・現在・未来－(第3部)「建築のアヴァンギャルド」、新世紀への礎筑波大学開学30周年記念　筑波フォーラム特別号、懐徳堂記念会の九十年、懐徳　第51～59・61～68・73号、適塾　第1～41号、大阪大学学報　自　創刊号(昭和29年3月)至　第118号(昭和38年12月)・自　第119号(昭和39年1月)至　第190号(昭和44年12月)・191-250　昭和45-49年・第251号(昭. 50)～第298号(昭. 53)・自　第299号(昭和54年)至　第　335号(昭和56年)・自　第336号　至　第383号(自昭和57年　至昭和60年)・自　第384号　至　第419号(自昭和61年　至昭和63年)・自　第456号　至　第479号(自平成4年　至平成5年)・自　第480号　至　第503号(自平成6年　至平成7年)・自　第504号　至　第527号(自平成8年　至平成9年)、大阪大学学報・阪大NOW　自　第22号　至　第45号(大阪大学学報)自　第21号　至　第43号　(阪大NOW)自　平成12年　至　平成13年、大阪大学学報・阪大NOW　自　第46号　至　第69号　(大阪大学学報)自　第44号　至　第67号　(阪大NOW)自　平成14年　至　平成15年、大阪大学学報・阪大NOW　自　第70号　至　第93号　(大阪大学学報)自　第68号　至　第86号　(阪大NOW)自　平成16年　至　平成17年、大阪大学学報・阪大NOW　自　第94号　至　第117号　(大阪大学学報)自　第87号　至　第100号　(阪大NOW)自　平成18年　至　平成19年、大阪大学学報　自　第227号　至　第286号(自昭和48年至昭和52年)・自　第287号　至　第335号(自昭和53年至昭和56年)、大阪大学の動き　No.1-100

大阪大学研究推進部
博士学位論文　内容の要旨及び審査結果の要旨　第92・93集

大阪大学国際部学生交流推進課
センター広報　第16号、大阪大学日本語日本文化教育センター2008、平成17年度大阪外国語大学日本語日本文化教育センター外部評価報告書、平成18年度大阪外国語大学日本語日本文化教育センター外部評価報告書、授業案内　平成21年度春学期、履修案内　平成21年度春学期、授業時間割　平成21年度春学期、OUSSEP-Maple Program Spring Semester 2009-2010

大阪大学国際部国際連携課
ANNUAL REPORT OF OSAKA UNIVERSITY 2008-2009(英文)

大阪大学学生部
大阪大学キャンパスライフ　2009、大阪大学　教職課程ブックレット①～④　2009年度、平成20年度　第9回　課外研究奨励費成果報告書、平成21年度　大阪大学大学院高度副プログラム、高度教養教育推進ワーキング報告書

大阪大学学生部入試課
大阪大学　2010年　大学案内、平成22年度　大阪大学入学者選抜要項

大阪大学免疫学フロンティア研究センター
Annual Report of IFRec 2008 FY、The First International Kishimoto Foundation Symposium "Immune Regulation:Present and Future"

大阪大学学際融合教育研究センター
第3回学際融合教育シンポジウムー複眼的視野と学際的視野を培う学際教育の力を語り合うー(チラシ)

大阪大学附属図書館
大阪大学附属図書館総合図書館利用案内[学外者用]、Osaka University Main Guide、大阪大学附属図書館理工学図書館利用案内[学内用]、研究生活に役立つ図書館の使い方、クリスマスコンサート「聖雪」2006・「テルミンの夕べ」2007・「シンフォニーの降る夜」2008(チラシ)、大阪大学機関リポジトリOKUA(パンフレット)、DRF地域ワークショップ「DRF-Senri」・「DRFMt.Machikane」、Current News　No.62～68、平成19年度　大阪大学附属図書館年次報告自己点検評価報告書、平成20年度大阪大学附属図書館　年次報告自己点検評価報告書、大阪大学図書館報　vol.43 no.1

大阪大学大学院人間科学研究科・人間科学部
大阪大学・大学院人間科学研究科人間科学部2009、平成20年度　インターンシップ報告書、大阪大学大学院人間科学研究科　2009、大阪大学人間科学部　2009、第6回母子手帳国際会議　会議プログラム、The 6th International Conference on Maternal and Child Health (MCM)Hnadbook Conference Proceedings、人間科学部オープンキャンパス　2009(パンフレット)、OIE Bulletin 大阪大学大学院人間科学研究科・人間科学部国際交流室ニュースレター　No.8、2008年度　部局自己評価報告書、平成21年度学生便覧

大阪大学外国語学部
言葉を究めて世界へはばたく　2010、2009(平成21)年度　授業時間割　国際文化・地域文化学科(昼間主コース)(夜間主コース)、2009授業科目履修案内(昼間主コース)・外国語学科、2009　学生便覧(平成21年度入学者適用)

大阪大学大学院経済学研究科・経済学部
平成21年度　学生便覧、平成21年度　授業概要(シラバス)、2010　大阪大学経済学部、大阪大学大学院経済学研究科　2010

大阪大学大学院理学研究科・理学部
平成17～21年度　授業概要(シラバス)大阪大学理学部、平成17～21年度　学生便覧　大阪大学理学部、平成18～21年度 理学部授業時間割表(第1学期)(第2学期)、平成21年度　時間割表　理学研究科大学院生用、平成21年度　高大連携物理・化学教育セミナー(旧「理科と情報数理の教育セミナー」)報告書、大阪大学理学部紹介　2010、平成21年度　学生便覧　大阪大学大学院理学研究科、大阪大学大学院理学研究科紹介2006・2008・2010、平成20～22年度　大阪大学大学院理学研究科博士前期課程学生募集要項「化学専攻のみ」(10月入学)、平成18～20・22年度　大阪大学大学院理学研究科博士前期課程学生募集要項第2次学生募集要項(数学専攻・生物科学専攻・高分子科学専攻・宇宙地球科学専攻)、平成17年度　大阪大学大学院理学研究科博士前期課程学生募集要項第2次学生募集要項(数学専攻・生物科学専攻・宇宙地球科学専攻)平成17年4月入学、平成17～20・21年度　大阪大学大学院理学研究科博士後期課程学生募集要項(4月入学)、平成17～22年度　大阪大学大学院理学研究科博士前期課程学生募集要項(4月入学)、平成14・16～21年度大阪大学大学院理学研究科博士後期課程学生募集要項(10月入学)、平成11～13・15～22年度　大阪大学大学院理学研究科博士前期課程学生募集要項(大学に3年以上在学する者に係る特別選抜)(4月入学)、平成11

～12・14～15・17～20・21年度　大阪大学大学院理学研究科博士前期課程学生募集要項(大学に3年以上在学する者に係る特別選抜)「数学専攻のみ」(4月入学)、平成11～13・16年度　大阪大学大学院理学研究科博士後期課程学生募集要項、平成11・16年度　大阪大学大学院理学研究科博士前期課程学生募集要項第2次学生募集要項(生物科学専攻)、平成12年度　大阪大学大学院理学研究科博士前期課程学生募集要項第2次学生募集要項(生物科学専攻)(高分子科学専攻)、平成12～13・15年度　大阪大学大学院理学研究科博士前期課程学生募集要項

大阪大学大学院医学系研究科・医学部

大阪大学大学院医学系研究科・医学部要覧2009、Osaka University Graduate School of Medicine,Faculty of Medicine　2008、21世紀を翔る医療スペシャリスト2010、平成21年度　医学部保健学科授業時間割表(第1学期)(第2学期)、平成21年度　医学系研究科保健学専攻(博士前期課程)授業時間割表(第1学期)(第2学期)、平成21年度　入学者用履修要覧、平成21年度保健学専攻履修要覧、平成21年度　保健学専攻履修要覧(がんプロフェッショナルコース用)、大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻　大阪大学医学部保健学科　外部評価報告書　平成21年9月(第3巻)

大阪大学大学院歯学研究科・歯学部

平成22年度学生募集要項、平成22年度　大阪大学大学院歯学研究科博士課程学生募集要項、平成22年度大阪大学入学者選抜要項、先端科学から未来医療を創る人材の育成

大阪大学大学院薬学研究科・薬学部

大阪大学薬学部・薬学研究科　外部評価報告書　平成18年度、大阪大学薬学部・薬学研究科の現状と展望平成18年度、平成21年度　大阪大学大学院薬学研究科公開講座「くすりと医療」、平成21年度　学生便覧、ライフサイエンスの最前線への誘い　2010(パンフレット)、平成22年度　大阪大学大学院薬学研究科博士後期課程学生募集要項、平成22年度　大阪大学大学院薬学研究科修士課程学生募集要項　特別入試　一般入学

大阪大学大学院工学研究科・工学部

2010　大阪大学工学部紹介冊子、平成21年度(2009年度)工学部教育科目履修要覧(平成21年度入学者用)、平成21年度　工学部授業時間表(第1学期)(第2学期)、平成21年度　大学院履修案内、平成21年度第1学期大学院前期課程用授業時間割(裏面　第2学期)、平成21年度　第1学期大学院後期課程用授業時間割(裏面　第2学期)、平成22(2010)年4月入学博士前期課程学生募集要項、平成22(2010)年4月入学　博士前期課程推薦入学特別選抜学生募集要項、平成22(2010)年4月入学　博士前期課程学生募集要項(学部3年次学生を対象とする特別選抜)、平成22(2010)年4月入学　博士後期課程学生募集要項、平成21(2009)年10月入学　博士後期課程学生募集要項、平成22(2010)年4月入学　博士後期課程学生募集要項第2次募集、外国人留学生特別選抜　平成22(2010)年4月入学　博士前期課程及び博士後期課程学生募集要項、外国人留学生特別選抜　平成21(2009)年10月入学博士後期課程学生募集要項、平成21(2009)年度研究生(外国人留学生)出願要項、2008　大阪大学電気系教室創立100周年カラー系譜図

大阪大学大学院基礎工学研究科・基礎工学部

第31回　公開講座テキスト「未来を拓く先端科学技術」、平成20年度　基礎工学研究科・基礎工学部　学外者による評価と提言、平成21年度　大阪大学基礎工学部学生便覧、大阪大学基礎工学部　2010、大阪大学大学院基礎工学研究科・基礎工学部2008－2009、平成21年度授業時間割表(1年次生用)、平成21年度　第1・2学期授業時間割表(2・3・4年生次用)

大阪大学大学院国際公共政策研究科

大阪大学大学院国際公共政策研究科15年のあゆみ1994 - 2009、OSIPP　NEWS　LETTER　2009年　夏号(№51)・秋号(№52)、大阪大学大学院国際公共政策研究科　2009/2010　COURSE　HANDBOOK　2009 OSIPP、平成22年度　大阪大学大学院国際公共政策研究科博士後期課程学生募集要項、平成21年度　大阪大学大学院国際公共政策研究科博士後期課程学生募集要項(平成21年度10月入学)、平成22年度　大阪大学大学院国際公共政策研究科博士前期課程学生募集要項、平成21(2009)年度　授業時間割表　M-1・M-2・D-1・D-2

大阪大学大学院情報科学研究科

大阪大学大学院情報科学研究科(パンフレット)(英文パンフレット)、大阪大学大学院情報科学研究科　年報第4号

大阪大学大学院生命機能研究科

大阪大学大学院生命機能研究科　2009、平成21年度学生便覧

大阪大学大学院大阪大学・金沢大学・浜松医科大学連合小児発達学研究科

大阪大学大学院大阪大学・金沢大学・浜松医科大学連合小児発達学研究科(パンフレット)、平成21年度学生

便覧

大阪大学微生物病研究所
大阪大学微生物病研究所　2009・2009(英文)、Thailand－Japan Research Collaboration Center for Emerging Infections(英文)

大阪大学産業科学研究所
産研ニュースレター　第38・39号、Memoirs of Institute of Scientific and Industrial Research 2009 No.66、平成21年　大阪大学産業科学研究所要覧

大阪大学接合科学研究所
大阪大学接合科学研究所　2009　要覧、大阪大学接合科学研究所　年次報告　2008年度、TRANSACTIONS OF JWRI Vol.37 №1・2 2008、阪大接合研ニュースレター　第24・25号、スマートプロセス研究センター News Letter №13

大阪大学低温センター
大阪大学低温センターだより　No.144～147

大阪大学環境安全研究管理センター
環境安全ニュース　No.37・38

大阪大学留学生センター
世界・未来をともに学ぶⅠ～Ⅲ－阪大留学生をリソースとした「国際理解教育」事例－、第4～16回　「大阪大学・地域団体ボランティア留学生支援連絡協議会」、大阪大学・地域団体ボランティア留学生支援連絡協議会参加団体グループ活動概要(2003～2009)、第11・15・17回　大阪大学・地域団体ボランティア　留学生支援連絡協議会　報告書、平成17～21年度　大阪府教育委員会初任者研修－社会体験プログラム－実施報告書、先導的国際理解教育の創出に関する講演会、国際理解教育推進のために(第1～2集)、平成8年度　留学生国際シンポジウム　21世紀に期待される日本の役割－帰国留学生からの提言－、平成8年度　留学生国際シンポジウム報告書　21世紀に期待される日本の役割－帰国留学生からの提言－、大阪大学における日本語教育カリキュラム改革に関する全学アンケート調査報告書(要約版)、日本語教育新カリキュラム　Japanese Language Programs(パンフレット)、日本語教育科目履修ガイド　Guide to Japanese Language Programs 2004－2006～2005-2006、日本語教育科目履修ガイド2004－2006、2006年度　春学期　留学生日本語プログラム、2007年度　秋学期　留学生日本語プログラム、留学生日本語プログラム履修ガイド　Japanese Language Program for International　Students 2006年度、留学生日本語プログラム履修ガイド2007～2009年度、2008・2009年度留学生日本語プログラム履修ガイド、Osaka, Japan, and the World Culture, Science, and Technology Osaka University Short-Term Student Exchange Program 1996-1997、Osaka, Japan, and the World Culture, Science, and Technology Osaka University Short-Term Student Exchange Program 1996-1997 SYLLABUS、Osaka, Japan, and the World Culture, Science, and Technology STUDY FOR A YEAR IN OSAKA IN ENGLISH Osaka University Short-Term Student Exchange Program 1997-1998、Osaka, Japan, and the World Culture, Science, and Technology STUDY FOR A YEAR IN OSAKA IN ENGLISH Osaka University Short-Term Student Exchange Program 1997-1998 OUSSEP SYLLABUS、Osaka, Japan, and the World Culture, Science, and Technology STUDY FOR A YEAR IN OSAKA IN ENGLISH OUSSEP CALENDAR 1998-1999、Osaka, Japan, and the World Culture, Science, and Technology STUDY FOR A YEAR IN OSAKA IN ENGLISH OUSSEP SYLLABUS 1998-1999、OUSSEP 1999-2000～2008-2009 CALENDAR、OUSSEP 1999-2000～2007-2008 SYLLABUS、OSAKA UNIVERSITY International Student Center 2003～2004・2006・2008(パンフレット)、大阪大学留学生センターニュース　第1～13号、大阪大学留学生センター5年のあゆみ 1994.4－1999.3、大阪大学留学生センター自己点検・評価報告書　1994～2003、留学生日本語プログラム外部評価　2005年5月31日－6月1日実施、大阪大学留学生センター外部評価報告書　平成17年3月、2005～2008年度　年報、2006－2007～2007－2008　日本語・日本文化研修生　日本語OUSSEP (OESSEP-AJLs)生修了レポート集、第2回　大阪大学専門日本語教育研究協議会　大阪大学における専門日本語教育のさらなる定着にむけて－留学生・指導教員とのディスカッションを通して　報告書、平成21年度大阪大学留学生センター連絡・交換会報告書

大阪大学総合学術博物館
大阪大学総合学術博物館　年報　2008、第9回　企画展「維新派という現象「ろじ式」」(チラシ)(ポスター)、第10回　企画展「“漆器”(JAPAN)の再発見－日本の近代科学の芽生え－」(チラシ)(ポスター)

大阪大学大学教育実践センター
大阪大学ステューデント・コモンズ　オープニングウィーク

大阪大学コミュニケーションデザイン・センター
コミュニケーションデザイン・センター　設立5周年記念シンポジウム「大阪大学におけるデザイン力とコミュニケーションデザイン」(チラシ)(ポスター)

大阪大学金融・保険教育研究センター
平成22年度4月入学　大阪大学金融・保険教育センター　科目等履修生高度プログラム「金融・保険」募集要項

大阪大学科学教育機器リノベーションセンター
第二回革新的研究教育基盤機器開発整備事業ならびにリユース研究教育基盤機器整備報告会－阪大開発先端機器とリユース機器の全学利用に向けて－(ポスター)

大阪大学グローバルコラボレーションセンター
年報　2007～2008、大阪大学大学院高度副プログラム(パンフレット)、平成21年度版　GLOCOL教育プログラム　大阪大学大学院高度副プログラム、紛争後の国と社会における人間の安全保障、GLOBAL COLLABORATION CENTER OSAKA UNIVERSITY(リーフレット英語版)、大阪大学グローバルコラボレーションセンター(リーフレット)

大阪大学世界言語研究センター
fact sheets　大阪大学世界言語研究センターについて—2009年度版

大阪大学サイバーメディアセンター
計算機利用ニュース　Vol.5　№1

大阪大学レーザーエネルギー学研究センター
レーザー研の広場　№2・3

旧制浪速高等学校同窓会
浪高同窓会報　第51号

伊藤治子
大阪大学医学伝習　百年史年表、学友会名簿　平成6年度、平成8年度版　大阪府医師会名簿、大阪帝国大学医学部　第1期生アルバム

橋本日出男
大阪大学と大阪外国語大学の統合—私的回想—

阿部　武司　(大阪大学)
平成20年度　共同利用実験室・共同利用実験装置　研究成果報告書、OSAKA UNIVERSITY -RROSPECTUS 2008・2006(英文)、OSAKA UNIVERSITY PROFILE 2008、核燃料物質と放射能、OSAKA UNIVERSITY 1985-86・1988-1989(英文)、大阪大学五十年史　部局史　経済学部篇　大阪大学五十年史部局史抜刷、大阪大学　経済学部　案内　昭和62～64年度、平成2年度学生募集要項、留学生相談室　第29号、FACULTY OF ECONOMICS GRADUATE SCHOOL OF ECONOMICS OSAKA UNIVERSITY 1984、FACULTY OF ECONOMICS GRADUATE SCHOOL OF ECONOMICS(抜刷)、大阪大学経済学部　40周年事業についてのお願い、大阪大学経済学部四十周年記念シンポジウム案内状、大阪大学基礎データ利用マニュアル、情報基盤委員会だより VOL.001、平成21年度　大阪大学留学生センター　連絡・交換会報告書、共通教育だより　№36、第50回まちかね祭(パンフレット)、サステナ　第13号、社学連携ワークショップ成果報告書(大阪大学サステナ倶楽部、)IR3S/TIGS　叢書　№1地球温暖化会議論批判、大阪大学総合学術博物館　年報　2008、民族紛争の背景に関する地政学的研究　vol.8 平成20年度　報告書、大阪大学　平成22年度　学生募集要項、大学機関別認証評価　自己評価書関連資料、大阪大学医学部学園祭　中之島祭2009(チラシ)、大阪大学21世紀懐徳堂だより　刊行準備号(リーフレット)、OSAKA RPG(チラシ)、ニセ科学フォーラム　2009、イルムラーのピアノ・レクチャーコンサート(チラシ)、大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻　大阪大学医学部保健学科　外部評価報告書(第3巻)、ANNUAL REPORT OF OSAKA UNVERSITY Academic Achievement　2007-2008　(英文)、大阪大学サイバーメディアセンター外部評価報告書　2009、サイバーメディア・フォーラム　№9、ニューズレター　No.11、公開シンポジウム「都市・農村連携の展開可能性」(チラシ)、お受験カフェ参加者募集(チラシコピー)、J-Life、UNIV>COOP No.369「わんさかプレイス」(コピー)、多様性・持続性　サスティナビリティ学教育の挑戦、民族紛争の背景に関する地政学的研究、大阪大学職員録　昭和62年、昭和62年度講義要綱、第3回学際融合教育シンポジウム－複眼的視野と学際的視野を培う学際教育の力を語り合う－(チラシ)、大阪大学先端科学イノベーションセンター　年報　平成20年度、2008年度　大阪大学留学生センター年報、大阪大学留学生センター研究論集　多文化社会と留学生交流　第13号、「室報」留学生相談室　第30号、大阪大学　大学教育実践センター　自己評価報告書、新聞記事に見る阪Topics　(2008.4～2009.3　)、国立大

学法人大阪大学の保有する個人情報の管理に関する手引き、大阪大学　活動方針2010、大学教育のグローバル化に対応したFD支援事業(チラシ)・e-Learning(リーフレット)・FD　Workshop　(リーフレット)大阪大学21世紀懐徳堂　特別公開対談　石黒　浩×鷲田清一(チラシ)、ロボット演劇、2010-2011年メイプル・プログラム　大阪大学短期留学日本文化特別プログラム、FrontierLab　@　OsakaU　2009-2010　Scientific Empowerment Program for International Students、OUSSEP　CALENDAR　2010-2011 大阪大学短期留学特別プログラム、脳情報通信融合研究キックオフ・シンポジウム開催案内　封筒一式、平成21年度　GLOCOL教育プログラム　大阪大学大学院高度副プログラム

菅真城（大阪大学）

大阪大学経済学　第59巻　第2・3号、村田義人氏に聞く―旧制大阪高等学校の思いで―、大阪大学　平成22年度　学生募集要項、大阪大学総合学術博物館　第10回企画展「“漆器”(JAPAN)の再発見－日本の近代科学の芽生え－」(チラシ)(ポスター)、大久保昌一名誉教授に聞く―大阪大学の思い出―、「日本の大学　その設立と社会」列品リスト

業務日誌(抄)　(2009年8月～2010年2月)

・8月5日　菅、田村、全国大学史資料協議会西日本部会2009年度第2回研究会（大阪市立美術館）に出席。

・9月1日　厚東洋輔名誉教授（人）のビデオ収録（法・経大学院総合研究棟）。

・9月2日　「部局刊行物の寄贈について（依頼）」を各部局に送付。

・9月7日　企画部企画推進課からイ号館の命名の由来について照会。

・9月17日　菅、全国大学史資料協議会2009年度全国研究会準備会（國學院大學）に出席。「大学アーカイブズの社会的使命」について研究発表。

・9月18日　総務部人事課から「大阪帝国大学創設由来の銘文」について照会。

・9月30日　『大阪大学文書館設置準備室だより』第5号を刊行。

・10月2日　総務部人事課より、職員研修で使用する古い中之島地区の建物の写真の撮影年代について照会。

・10月6日　総務部人事課・貝原亮氏より、準備室所蔵資料の研究目的の閲覧について照会。

・10月7日　企画部企画推進課と文書館について打ち合わせ。

・10月14日　菅、東京出張。全国大学史資料協議会2009年度総会ならびに全国研究会（國學院大學・国文学研究資料館）に出席（16日まで）。「大学アーカイブズの社会的使命」について研究報告。

・10月28日　中岡省治大阪外国語大学名誉教授のビデオ撮影（外国語学部長室）。

ボランティアサークルフロンティア（学生サークル）・吉崎真人氏からサークル資料について情報提供。

10月29日　学習院アーカイブズ準備室・桑尾光太郎氏、文書館設置準備室の活動視察のため来室。

・10月30日　菅、全国歴史資料保存利用機関連絡協議会近畿部会第103回例会（大阪市立中央青年センター）に出席。

・11月5日　中岡省治大阪外国語大学名誉教授のビデオ撮影（外国語学部学術交流室）。

・11月6日　西田理事と文書館について打ち合わせ。

・11月9日　北海道大学大学文書館・山本美穂子氏、女子入学生の調査のために来室。

・11月13日　廣川和花総合学術博物館助教、朝日放送報道局ニュース情報センター部長・戸石伸泰氏来室。

・11月16日　全国大学史資料協議会東日本部会主催「日本の大学－その設立と社会」展示に大阪帝国大学医学部写真を貸し出し。

・11月17日　菅、全国歴史資料保存利用機関連絡協議会平成21年度第4回大会・研修委員会（福島県文化センター）に出席。

・11月18日　菅、全国歴史資料保存利用機関連絡協議会第35回全国（福島）大会（福島県文化センター）に出席（19日まで）。

・12月2日　第19回文書館（仮称）設置検討ワーキングを開催。

・12月4日　菅、京都出張。全国大学史資料協議会西日本部会2009年度第4回研究会ならびに第4回幹事会（住友史料館・泉屋博古館）に出席。

・12月17日　旧制浪速高等学校同窓会役員来室。

・12月22日　総務部人事課・貝原亮氏来室、50年史編纂資料を閲覧。
田村、中内、研修会「写真フィルムの保存について～あなたの図書館のマイクロフィルムは大丈夫？～」（附属図書館）に出席。

・12月24日　阿部室長、理事懇談会で文書館について説明。

・1月12日　徳永恂名誉教授（人）のビデオ撮影（法・経大学院総合研究棟大会議室）、資料受贈。

・1月21日　竹岡敬温名誉教授（経）のビデオ撮影（待兼山会館）。

・1月23日　菅、第130回記録管理学会特別例会（エル・ライブラリー）に出席。

・1月28日　平成22年度からの大学留保ポスト借用についての総長ヒアリング。

菅、東京出張。第69回全国大学史資料協議会東日本部会研究会（明治大学）に出席。

工学研究科電気系図書室から当室の収集対象資料について照会。

・1月29日　菅、東京出張。学習院アーカイブズを視察。

附属図書館参考調査担当から、長岡半太郎関係資料の所蔵について照会。

・2月1日　川島慶雄名誉教授（国公）のビデオ撮影。

・2月6日　菅、京都出張。大学アーカイヴズに関する研究会（京都大学）に出席し、文書館設置準備室の活動状況について報告。

・2月9日　菅、東広島出張。広島大学文書館を視察。

・2月10日　菅、広島出張。平成21年度全国歴史資料保存利用機関連絡協議会第5回大会・研修委員会（広島県立文書館）に出席。

・2月14日　科学史技術史研究所研究員・田中克範氏から基礎工学部の歴史に関する資料（『基礎工学部協力会会報』）の閲覧について依頼。

・2月16日　菅、グラスゴー大学アーカイブズとの研究会（京都大学）に出席し、文書館設置準備室について報告。

日本学術振興会特別研究員（経済学研究科）ドンゼ氏から、医学部附属病院におけるレントゲン使用に関する史料について照会。

・2月17日　伊藤治子氏から「医学部第1期生アルバム」他の資料を受贈。

・2月22日　防衛大学校教職員4名、文書館設置・自校史教育の調査のため来室。

平成22年度から5年間の准教授ポストの借用が役員会で承認される。

・2月23日　小樽商科大学附属図書館・大田康子氏、視察のため来室。

・2月25日　ドンゼ氏から、医学部附属病院『統計年次報告』の所蔵について照会。

文書館設置準備室からのお願い

文書館設置準備室では、大阪大学（旧制の大阪帝国大学・大阪医科大学・大阪工業大学・大阪高等学校・浪速高等学校・大阪薬学専門学校・大阪外国語大学を含みます）に関する様々な資料を収集しています。広報誌などの学内刊行物、時間割、講義ノート、文書資料、学生運動関係等のビラ、写真（アルバム）、記念品など、大阪大学の歴史に関する資料がございましたら、文書館設置準備室にご寄贈もしくは貸与いただけますよう、お願い申し上げます。

大阪大学文書館（仮称）の設置構想

大阪大学文書館（仮称）の設置構想が、平成21年6月12日開催の文書館（仮称）設置検討ワーキングで了承されました。その後、同構想は、7月7日開催の総合計画室会議において了承されました。また、12月24日には、理事懇談会において阿部室長が同構想について説明しました。

第二期中期目標期間中（平成22～27年度）の設置を目指しており、今後、組織や設置場所などについて、より具体の検討を進めていきます。

大阪大学文書館設置準備室員名簿

室　長	阿部武司 （経済学研究科長）
講　師	菅　真城
事務補佐員	田村　綾
	中内加奈子

大阪大学文書館設置準備室だより　第6号

発行日　2010年3月31日
編集発行　大阪大学文書館設置準備室
〒560-0043
大阪府豊中市待兼山町１－３２
大阪大学サイバーメディアセンター気付
Tel.（06）6850-6269
Fax.（06）6850-6274
E-mail kan@hpc.cmc.osaka-u.ac.jp
http://www.osaka-u.ac.jp/jp/facilities/archives/top.html